

監査報告書

令和 8 年 5 月 2 1 日

社会福祉法人 上富田町社会福祉協議会
会 長 平 見 信 次 殿

監事 岩本 岩男 
監事 木村 勝彦 

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3 意見・要望

今回の監査では、前述のとおり、経理処理には不適切な問題はありません。

決算状況は、法人全体の収入総額が 252,177 千円、支出総額が 249,658 千円、収支差額が 2,519 千円の黒字となった。

昨年度に 10,000 千円を取り崩し、赤字補填をしているが、今年度に 9,000 千円を積み戻している。この黒字の要因は、事業見直しによりデイサービスを2か所から1か所に統合したことと、行政からの補助金 10,000 千円の増額によるものであり、今後も介護職員の人材不足の影響により利用者の減少が懸念される。令和8年度以降は厳しい経営状況が想定されるため、引き続き、行政の協力・支援も得ながら、事業の経営基盤の安定化・適正化に努められたい。